



家庭用

WET&DRYコンパクトクリーナー

(ウェット アンド ドライ)

IC-VWD1

取扱説明書



もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上のお願い	3
各部の名称	4
準備(組み立てる)	5

取り扱いかた

使いかた	6
付属品の取り付けかた	9
ごみの捨てかた	10
お手入れのしかた	11

こんなときには

故障かな?と思ったら	14
仕様	15
保証とアフターサービス	15
保証書	裏表紙

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

安全上の注意

使用する前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください。ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのもので、「警告」「注意」の2つに分けて説明しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告



禁止

- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
- 水まわり、風呂場など湿気のある場所での使用は絶対にしない
ショート・感電・故障の原因になります。
- 絶対に分解・修理・改造はしない
発火・けが・異常動作の原因になります。
- めれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
発火・ショート・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねて通電したりしない
- 電源コードを高温部に近づけたり、重いものをのせたり、挟み込んだり、加工したりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 灯油・ガソリン・シンナーなどの引火性のあるもの、火の気のあるもの、トナーなどの可燃性のものを吸わせたり、そばで使ったりしない
火災の原因になります。
- 油・熱湯・薬液・洗剤など、発泡性のある液体は吸い込ませない
フロート機構が正常に働かず、感電・故障の原因になります。



必ず実施

- 電源は交流100V・定格15A以上のコンセントを単独で使う
火災・感電の原因になります。
- 電源プラグの刃および刃の取付面にほこりが付いているときは、乾いた布でよくふき取る
湿気などで発火・絶縁不良の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
発火・ショート・感電の原因になります。

⚠ 注意

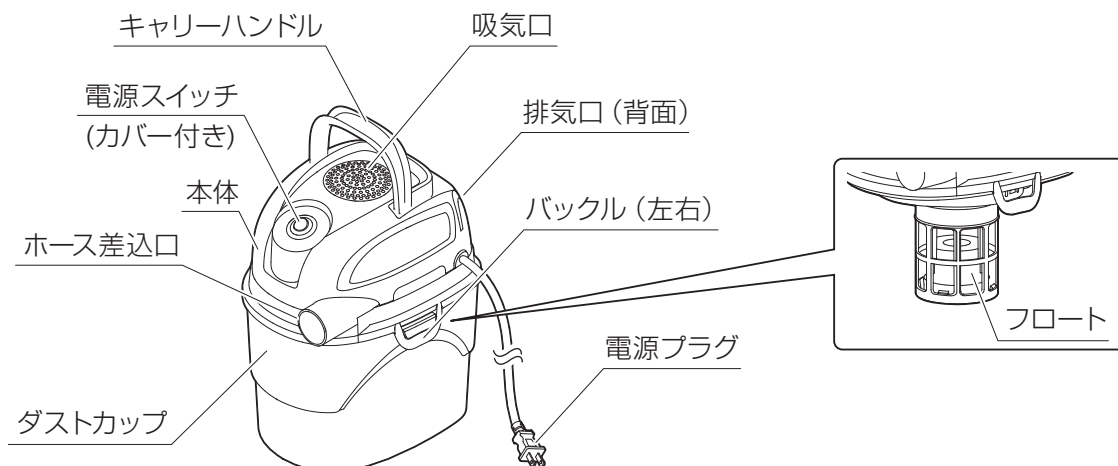
 禁止	●火気に近づけない 本体・電源コードなどの変形によるショート・発火の原因になります。
	●吸込口をふさいで長時間運転しない ●吸気口、排気口をふさいで運転しない 過熱による本体の変形・故障・発火の原因になります。
	●フロートが動作したままの状態で使用しない モーターが過熱し、本体の変形・故障・発火の原因になります。
	●破れたり、破損したフィルターは使わない 故障や性能低下の原因になります。
	●本体やフロアヘッドなどには乗らない ●ホースを踏んだり、無理に曲げたりしない ●子どもには遊ばせない けがや破損の原因になります。
	●運転中にダストカップを取り外すバックルを開かない けがや本体破損・故障の原因になります。
	●本体を倒したり、横倒しの状態で運転したりしない フロートの誤動作や故障、ダストカップ内容物の漏えいによる汚損の原因になります。
 必ず実施	●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに先端の電源プラグを持って引き抜く 電源コードが断線し、発火・ショート・感電の原因になります。
	●ダストカップに溜まったものは、使用後に毎回必ず捨てる そのまま放置すると、かびや悪臭の原因になります。
	●使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く 絶縁劣化による漏電により、火災・感電の原因になります。
	●持ち上げるときは、必ずキャリーハンドルを持つ 本体が落下して、けがや床に傷が付く原因になります。

使用上のお願い

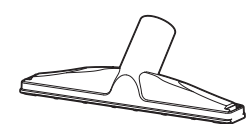
- この掃除機は室内用です。屋根の無いところでは絶対に使わないでください。
- 本製品は家庭用掃除機です。業務用には使用しないでください。また、清掃以外には使用しないでください。
- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
 粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・大量の砂
- 一度に多量のごみを吸わせたり、大きなごみ・ビニール類を吸わせないでください。吸引力の低下や、ホースやパイプの詰まりの原因になります。
- フロアヘッドや小型ブラシなどを、床・壁・家具などに強く押し付けしないでください。傷が付いたり破損したりする原因になります。
- フィルターは専用のものを正しく取り付けてください。
- 穴が開いたり、傷が付いたりしたフィルターやホースは使わないでください。

各部の名称

■ 本体



■ 付属品

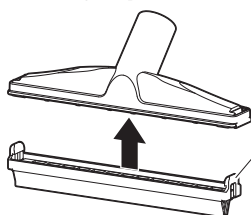


フロアヘッド



窓用ゴムパーツ

窓アタッチメント (フロアヘッド + 窓用ゴムパーツ)
※窓用ゴムパーツを取り付けると窓アタッチメントとして使用することができます。



窓用ゴムパーツ

前 後ろ

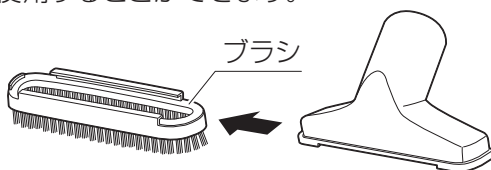


布フィルター
(乾式用)

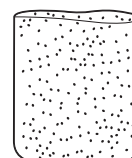


小型ブラシ

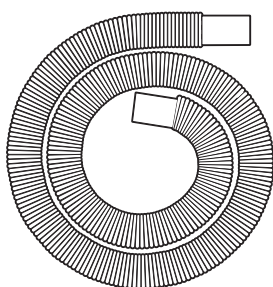
ミニフロアヘッド
※ブラシの部分を外すと、ミニフロアヘッドとして使用することができます。



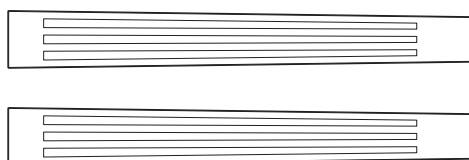
ブラシ



スポンジフィルター
(湿式用)



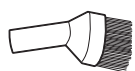
ホース



延長パイプ(2本)



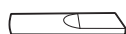
すきまノズル(大)



ブラシノズル



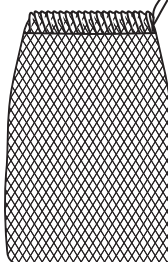
延長ノズル(大)



すきまノズル(小)



延長ノズル(小)

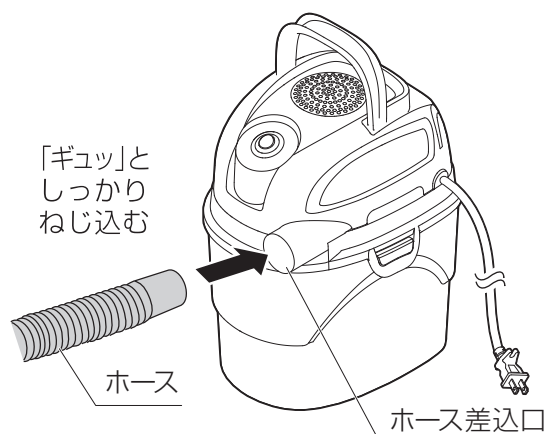


ノズル入れ袋

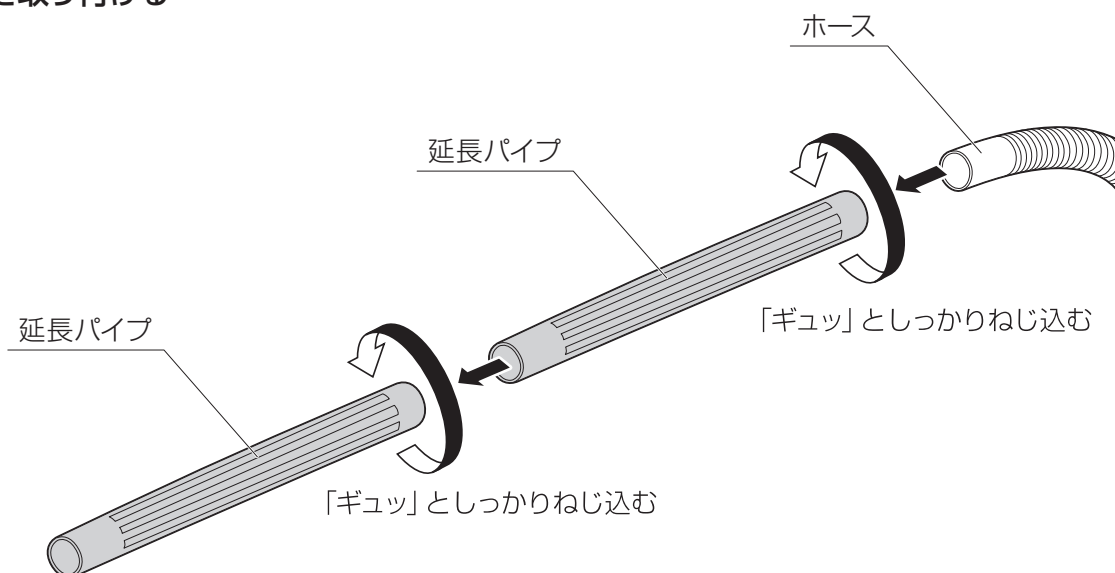
準備 (組み立てる)

1 ホースを差し込む

ホースを本体のホース差込口に差し込みます。



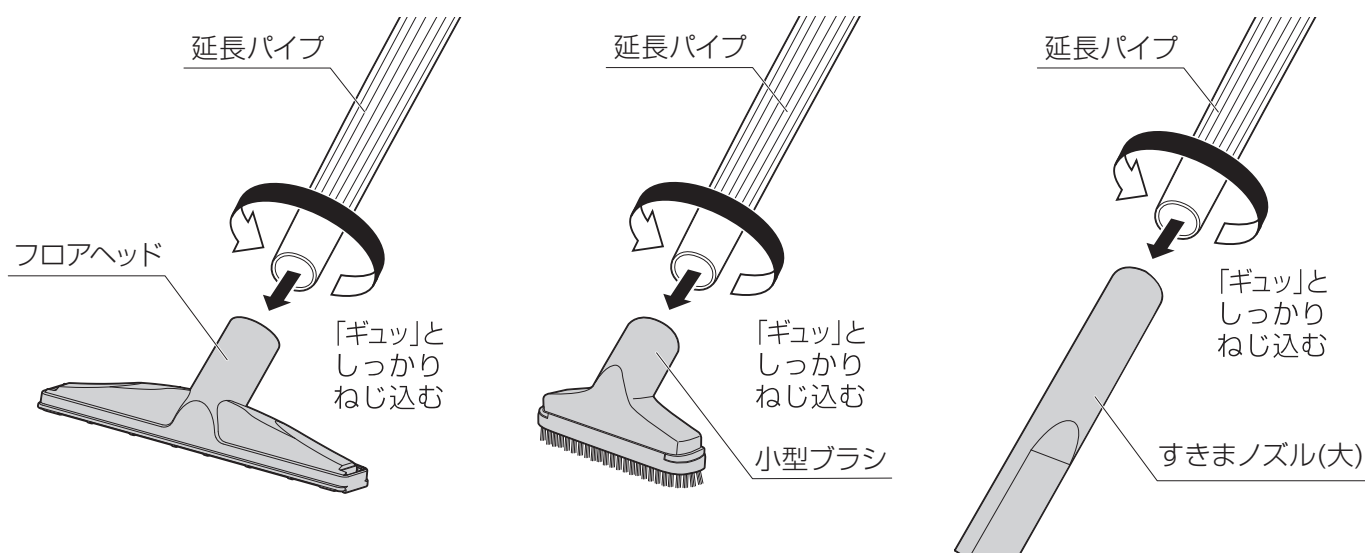
2 延長パイプを取り付ける



3 フロアヘッドや小型ブラシ・すきまノズル(大)を取り付ける

フロアヘッドや小型ブラシ・すきまノズル(大)を延長パイプに取り付けます。

※そのほかのノズルやブラシの使いかたは、「付属品の取り付けかた」を参照してください。(P9参照)



使いかた

■運転のしかた（乾式）

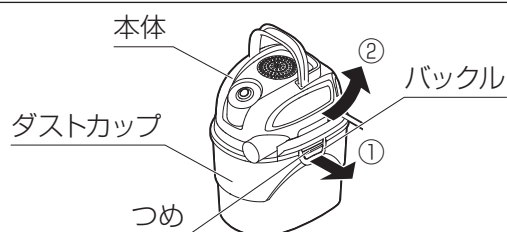


注意

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・大量の砂
- 一度に多量のごみを吸わせたり、大きなごみ・ビニール類を吸わせないでください。吸引力の低下や、ホースやパイプの詰まりの原因になります。
- フィルターが目詰まりしたり、パイプが詰まったりした状態で使用し続けると、モーターが過熱し、安全のために製品の電源が一時的に切れますが、冷えると復旧します。
- 使用中に本体を倒さないでください。吸気（吸水）を止めるためのフロートが動作して吸引できなくなります。倒してしまったときは、速やかに本体を起こし、電源を入れ直してください。

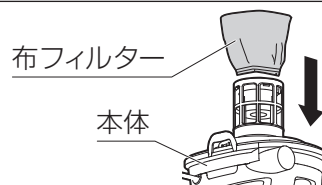
1 ダストカップを取り外す

- ① 左右のバックルを本体のつめから外します。
- ② 本体をダストカップから取り外します。



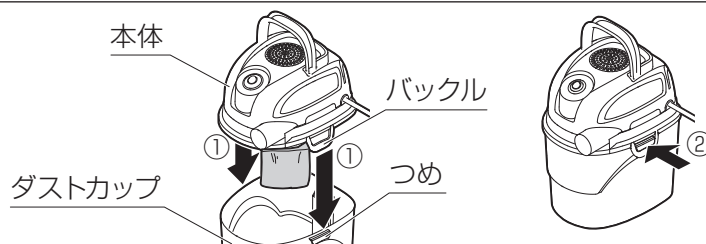
2 布フィルターを取り付ける

布フィルターを本体に取り付けます。



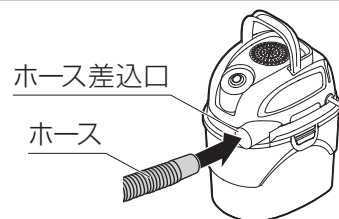
3 本体をダストカップに取り付ける

- ① 本体をダストカップにしっかり取り付けます。
- ② バックルをつめに引っかけます。



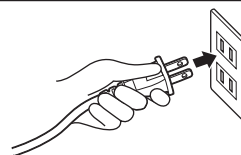
4 ホースを差し込む

ホースを本体のホース差込口に差し込みます。



5 電源プラグを差し込む

電源プラグを持ってコンセントに差し込みます。



6 電源を入れる（運転開始）

電源スイッチを押して電源を「I」にします。

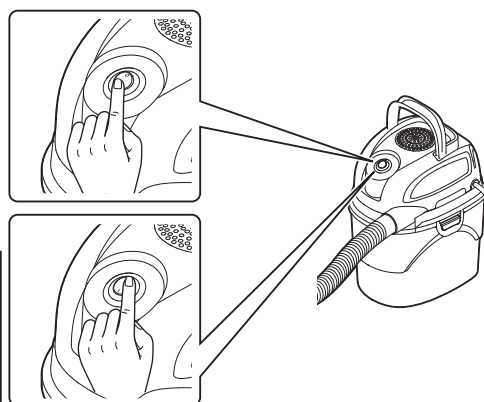
7 電源を切る

電源スイッチを「O」にします。その後電源プラグをコンセントから抜きます。



注意

- 使用後は、電源プラグを接続したまま放置せずに、必ずコンセントから抜いてください。
- 必ず電源プラグを持ってコンセントから引き抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードの断線やプラグの変形の原因になります。



■運転のしかた（湿式）

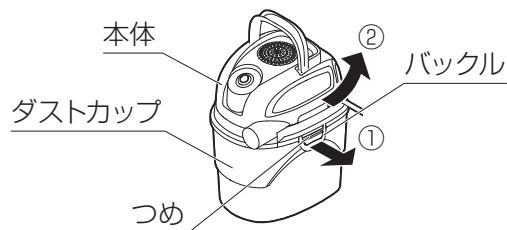


注意

- 次のようなものは吸わせないでください。フィルターの目詰まりや故障の原因になります。
粉末状のもの・ガラス・針など尖ったもの・大量の砂
- 一度に多量のごみを吸わせたり、大きなごみ・ビニール類を吸わせないでください。吸引力の低下や、ホースやパイプの詰まりの原因になります。
- フィルターが目詰まりしたり、パイプが詰まったりした状態で使用し続けると、モーターが過熱し、安全のために電源が一時的に切れますが、冷えると復旧します。
- 一定量の水を吸い込むとフロートが動作し、安全のためにそれ以上吸い込まなくなりますが、水を捨てると復旧します。
- 使用中に本体を倒さないでください。吸気（吸水）を止めるためのフロートが動作して吸引できなくなります。倒してしまったときは、速やかに本体を起こし、電源を入れ直してください。

1 ダストカップを取り外す

- ① 左右のバックルを本体のつめから外します。
- ② 本体をダストカップから取り外します。



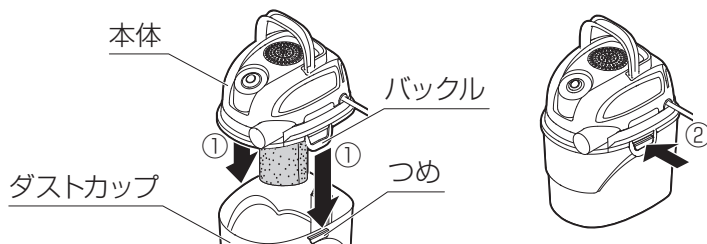
2 スポンジフィルターを取り付ける

スポンジフィルターを本体に取り付けます。



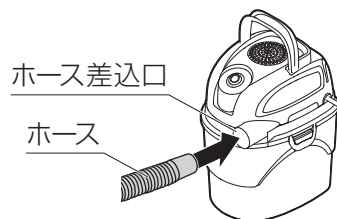
3 本体をダストカップに取り付ける

- ① 本体をダストカップにしっかり取り付けます。
- ② バックルをつめに引っかけます。



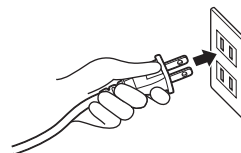
4 ホースを差し込む

ホースを本体のホース差込口に差し込みます。



5 電源プラグを差し込む

電源プラグを持ってコンセントに差し込みます。

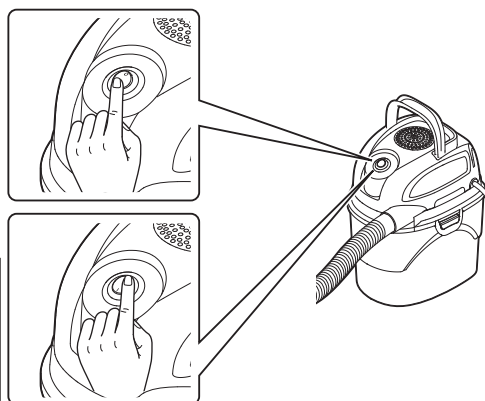


6 電源を入れる（運転開始）

電源スイッチを押して電源を「I」にします。

7 電源を切る

電源スイッチを「O」にします。その後電源プラグをコンセントから抜きます。



注意

- 使用後は、電源プラグを接続したまま放置せずに、必ずコンセントから抜いてください。
- 必ず電源プラグを持ってコンセントから引き抜いてください。電源コードを引っ張ると、コードの断線やプラグの変形の原因になります。

■窓アタッチメントの使いかた

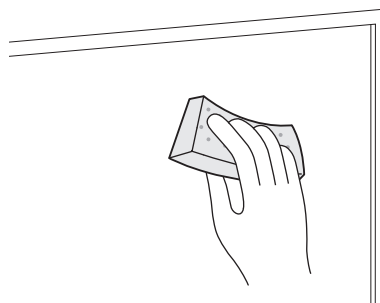


注意

- 窓から外に乗り出したり、不安定な踏み台に乗ったりして清掃しないでください。転倒・落下によるけがの原因になります。

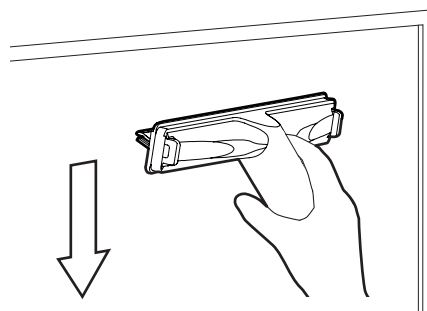
1 ガラス面を濡らす

スポンジや雑巾を使用し、水やぬるま湯などでガラス面を濡らして汚れを浮かせます。



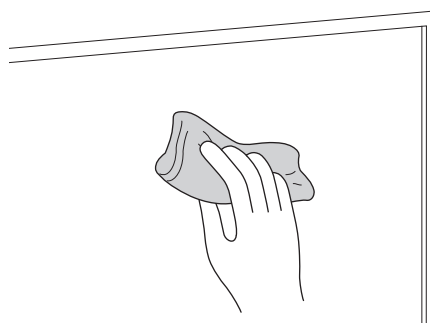
2 窓アタッチメントで水を切る

窓アタッチメントをホースに取り付け、運転しながら、窓アタッチメントを上から下に動かして水気を切ります。



3 から拭きする

仕上がりに応じて、雑巾でから拭きし、仕上げます。



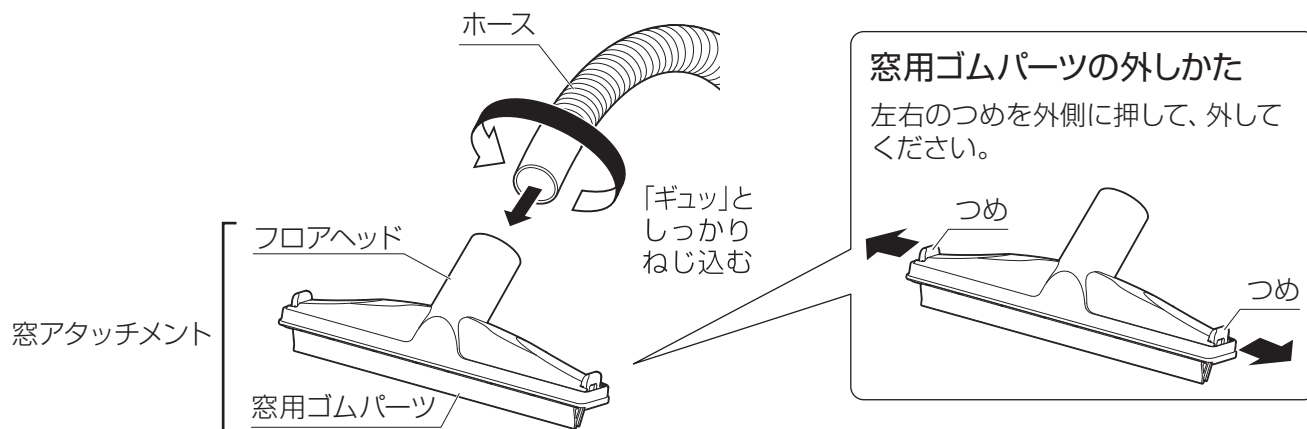
付属品の取り付けかた

いろいろなノズルを組み合わせる使えます。

■窓アタッチメント (フロアヘッド + 窓用ゴムパーツ)

フロアヘッドに窓用ゴムパーツを取り付けたもので、窓ガラスの清掃に使えます。

※この場合は、延長パイプを使わずに、直接ホースに取り付けてください。



■延長ノズル(大) + 小ノズル

延長ノズル(大)は、延長パイプやホースに小さいノズルを付けて使用するときに使います。

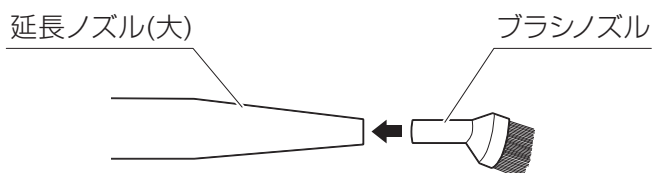
※延長ノズル(小)の組み合わせは自由です。

先端には、ブラシノズルか、すきまノズル(小)を取り付けて使ってください。

(イラストは、ブラシノズルを取り付ける場合です。)

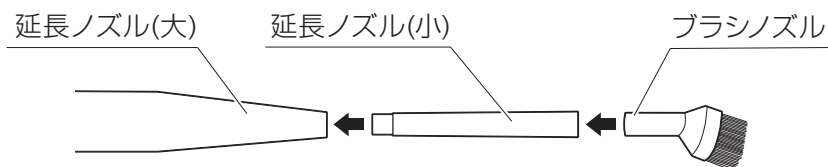
●延長ノズル(大) + ブラシノズル

パソコンのキーボードや車のエアコンの送風口など、細かいところの清掃に適しています。



●延長ノズル(大) + 延長ノズル(小) + ブラシノズル

車のメーターパネルなど、奥まったところの清掃に適しています。



注意

- 掃除の際、床・壁・家具などに強く押し付けたりぶついたりしないでください。
傷が付いたり破損したりする原因になります。

ごみの捨てかた



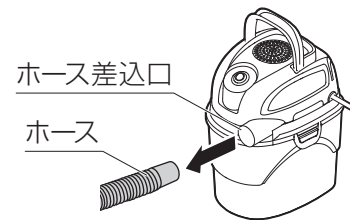
注意

- ごみはこまめに捨ててください。
- 安全のために、ダストカップからごみを捨てる際には、必ず電源スイッチを「O」にして、電源プラグをコンセントから抜いた状態で行ってください。
- 運転中にダストカップを取り外さないでください。

■ダストカップからごみを捨てる

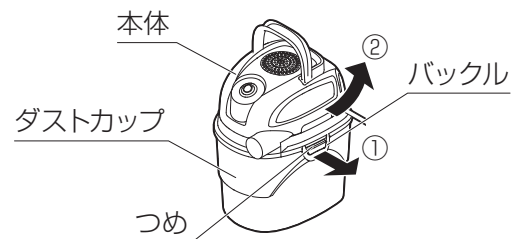
1 ホースを抜き取る

ホースを本体のホース差込口から抜き取ります。



2 ダストカップを取り外す

- ①左右のバックルを本体のつめから外します。
- ②本体をダストカップから取り外します。

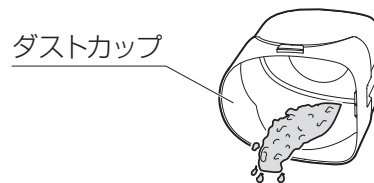


3 ごみを捨てる

軽くたたきながら、ごみを落とします。

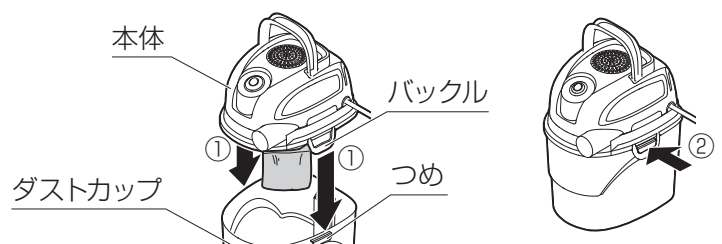
乾式の場合

湿式の場合



4 ダストカップを本体に取り付ける

- ①本体をダストカップにしっかり取り付けます。
- ②バックルをつめに引っかけます。



お手入れのしかた



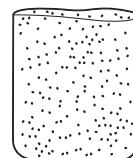
注意

- お手入れの際には、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- フィルター類はこまめにお手入れをしてください。ほこりや汚れがたまったらそのまま使用すると、モーターが発熱し故障の原因になります。
- 特に、「布フィルター」は、最低2か月に一度は表と裏のほこりや汚れをきれいに落としてください。「スポンジフィルター」は、使用した後、毎回必ず乾燥させてください。

※ 2か月は目安です。ごみの種類や使用頻度によって、お手入れの頻度は異なります。



布フィルター

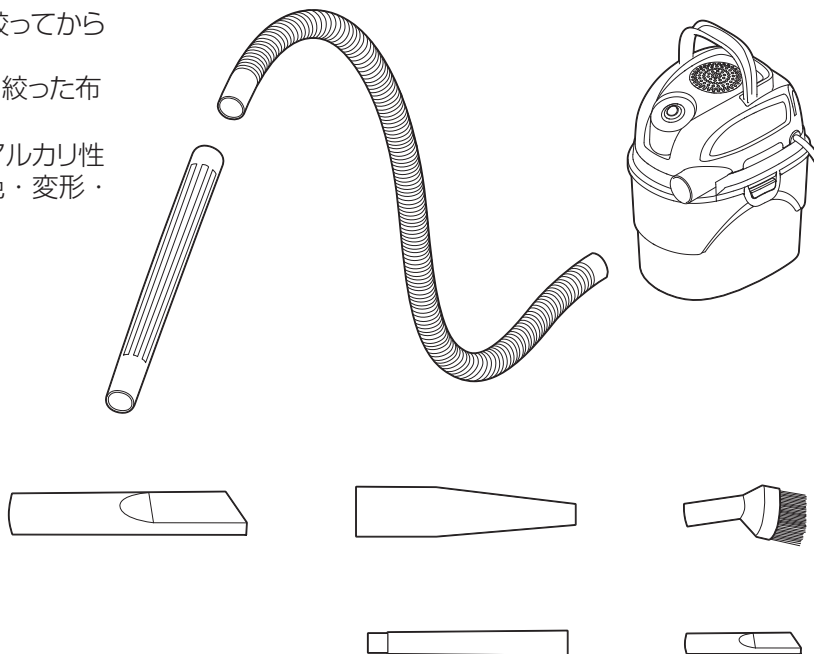


スポンジフィルター

■本体、付属品のお手入れ

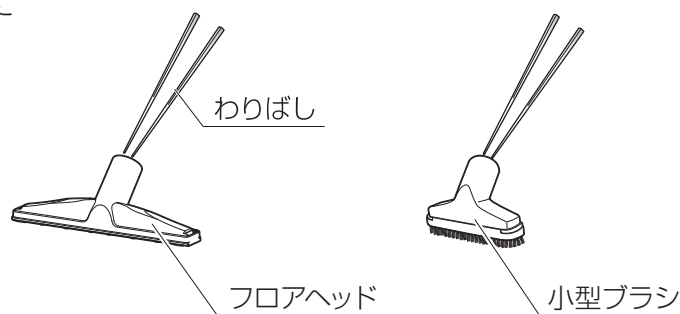
- 布に、水または薄めた中性洗剤を含ませ、よく絞ってから拭いてください。
中性洗剤を使って拭いたあとは、水に浸して固く絞った布で、洗剤分をよく拭き取ってください。

※お手入れにシンナー・アルコール・ベンジン・アルカリ性洗剤・漂白剤などを使用しないでください。変色・変形・変質・破損し、故障の原因になります。



■フロアヘッド、小型ブラシのお手入れ

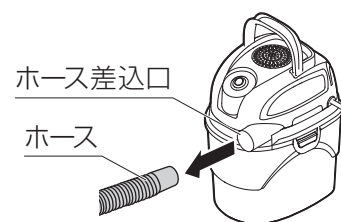
- フロアヘッドや小型ブラシの内部にごみがたまり、吸引力が落ちる場合があります。わりばしやピンセットで、定期的に取り除いてください。



■ダストカップのお手入れ

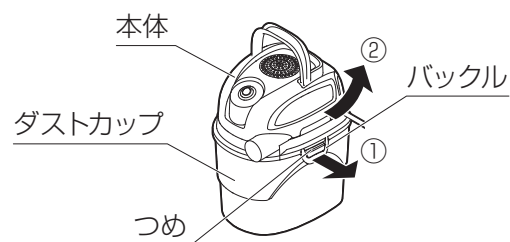
1 ホースを抜き取る

ホースを本体のホース差込口から抜きます。



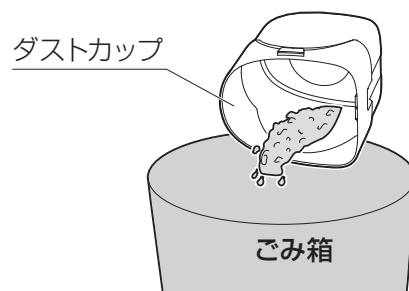
2 ダストカップを取り外す

- ①左右のバックルを本体のつめから外します。
- ②本体をダストカップから取り外します。

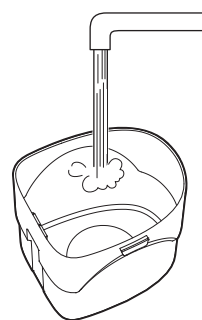


3 ごみを捨てる

軽くたたきながら、ごみを落とします。



4 水洗いをする



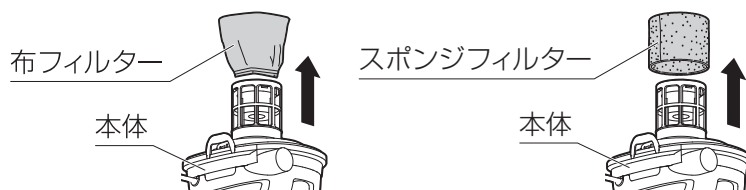
5 本体に取り付ける

ダストカップの水をよく拭き取るか、乾燥させてから、逆の手順で本体に取り付けます。

■布フィルター、スポンジフィルターのお手入れ

1 フィルターを取り外す

本体から布フィルターあるいはスポンジフィルターを取り外します。

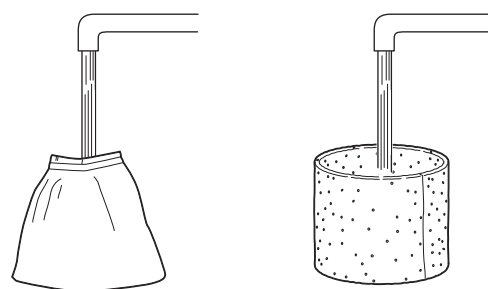


2 ごみを捨てる

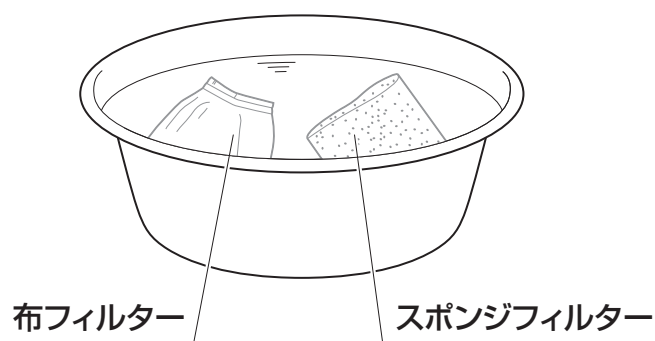
軽くたたいて、ごみを落とします。

3 水洗いをする

- ①流水で汚れを落としてください。
- ②水を入れた容器にフィルターを浸け、ゆすいで汚れを落としてください。



流水で汚れを落としてください



水を入れた容器にフィルターを浸け、ゆすいで汚れを落としてください。

4 本体に取り付ける

十分に各部品を乾燥させてから、逆の手順で本体に取り付けます。



注意

- 表面が乾いていても内部に水分が残っている場合があります。
風通しが良い場所で十分に乾燥させてください。
乾燥させないで使用すると、水分がモーターに付着し、故障の原因になります。

故障かな?と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、下記の点を確認してください。

状 態	考えられる原因	処 置	参照ページ
運転しない	●コンセントに電源プラグが正しく接続されていない	●電源プラグをしっかりと再接続する	→ P6、P7参照
	●フィルター類にごみやほこりがたまっている	●保護装置の説明にしたがい処置をする	→ P14参照
吸引しない	●本体が倒れて吸気(吸水)を止めるためのフロートが働いている	●速やかに本体を起こし、電源を入れ直す。	→ P6、P7参照
	●満水になり、吸気(吸水)を止めるためのフロートが働いている	●保護装置の説明にしたがい処置をする	→ P14参照
吸引力が弱い	●フロアヘッドや延長パイプ、ホースなどにごみが詰まっている ●フィルター類にごみやほこりがたまっている ●ダストカップが本体にきちんと取り付けられていない	●中を点検し、詰まっているものを取り除く ●フィルターのお手入れをする ●一度本体からダストカップを外し、ふたの状態を確認する	→ P10、11、12、13参照
運転音が大きくなった	●フィルターの汚れがひどい ●フロアヘッドなどの吸込口に大きなごみが詰まっている	●詰まっているごみを取り除く	

保護装置について

●ダストカップが満水になるとフロートが動作し、モーターは回っていても吸い込まなくなります。

<処置のしかた>

1. 電源スイッチを「OFF」にしたあと、電源プラグをコンセントから抜く。
2. ダストカップのごみや水を捨てる。(P10参照)

ダストカップ内の水位が下がると、保護装置が解除され、再び使用できるようになります。

●フィルターが目詰まりした状態で使用し続けるとモーターの過熱防止のため保護装置が働き、電源を入れても一時的にモーターが動かなくなります。

<処置のしかた>

1. 電源スイッチを「OFF」にしたあと、電源プラグをコンセントから抜く。
2. ダストカップのごみを捨て、フィルター類をお手入れする。(P10～13参照)
3. 涼しい場所に置く。

モーターの温度が下がると保護装置が解除され、再び使用できるようになります。

それでも解決できないときは

●お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。



警告

ご自分での分解・修理・改造はおやめください。

仕様

電 源	AC100V (50Hz/60Hz共通)	本 体 寸 法	幅199×奥行228×高さ291mm
消 費 電 力	430W	容 積	タンクサイズ：約5.7L 集じん容量：約3.5L 吸水量：約1.7L
吸込仕事率	40W		
質 量	約2.1kg (フロアヘッド、ホース、延長パイプ2本を含む)	コード長	約1.8m

セット内容 本体、ダストカップ、ホース、延長パイプ(2本)、フロアヘッド、窓用ゴムパーツ、小型ブラシ、すきまノズル(大)、布フィルター(乾式用)、スポンジフィルター(湿式用)、延長ノズル(大)、延長ノズル(小)、すきまノズル(小)、ブラシノズル、ノズル入れ袋

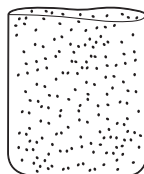
※商品の仕様は予告なく変更することがあります。

■ 消耗部品について

布フィルター、スポンジフィルターは消耗品です。
お手入れしても汚れが取れなくなった場合、交換してください。
消耗部品のお求めは、当社アイリスコールまでご連絡ください。



布フィルター



スポンジフィルター

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書（裏表紙）に記載されています。
保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、6年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

WET&DRYコンパクトクリーナー IC-VWD1

(ウェットアンドドライ)

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年 月 日		お買い上げ日より：1年間 ただし、付属品を除く	
お 客 様	お名前		※ 販 売 店
	ご住所 〒		
	電話 () -		
		住所・店名	
		電話 () -	

販売店様へ： ※ 印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ② お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③ 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④ 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤ お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥ 本書の提示がない場合
 - ⑦ 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

アイリスオーヤマ株式会社

〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号 ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール 通話料無料

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール 通話料無料

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00 （年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く）

FAX でのお問い合わせは

通話料無料

0800-888-2600

Web からのお問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください